



AOYAMA GAKUIN SENIOR HIGH SCHOOL

青山学院高等部

SCHOOL GUIDE 2018



The Salt of the Earth, The Light of the World

青山学院スクールモットー

「地の塩、世の光」

マタイによる福音書 第5章 13～16節より

青山学院教育方針

青山学院の教育は
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き
真理を謙虚に追求し
愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。

高等部の教育目標

1. 礼拝と聖書の学びを通して、真実を求める心を培い、神や人生について深く考え、人を愛し人に奉仕する人間の育成に努める。
 2. 教科の学習を通して、総合的判断力・洞察力を持ち、自分の人生の進路を切り拓く力をもつ人間の育成に努める。
 3. 学校の諸活動を通して、集団の中で自分の果たすべき役割を知り、それを実行できる人間の育成に努める。
 4. 国際的な視野に立って将来の社会に責任を負うことのできる人間の育成に努める。
- この教育目標のもとに、さらに各教科の教育目標ができております。



高等部南校舎：1952（昭和27）年



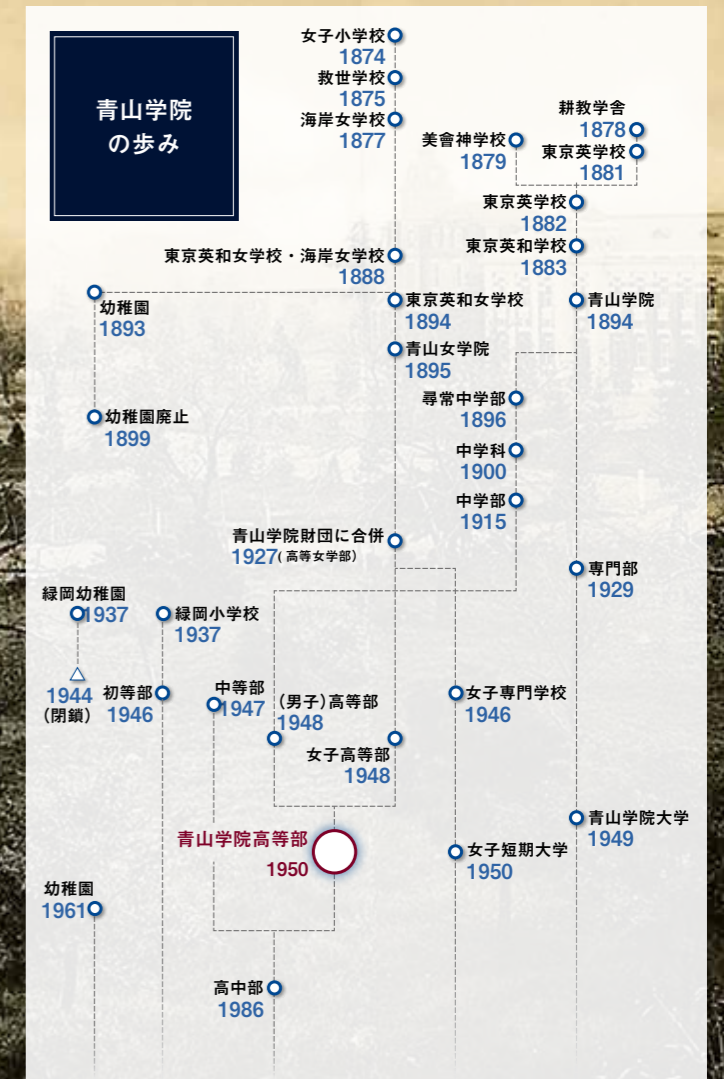
高等女学部のプラット記念講堂（旧PS講堂）



教場の授業風景（高等女学部）



1921（大正10）年頃の青山キャンパス



青山学院は1947年に新制の中等部を開設しました。また、1948年にそれまでの中等教育機関を改称して（男子）高等部、女子高等部とし、1950年に二つを合同して男女共学の青山学院高等部を開設いたしました。その後、1986年から中等部と高等部の連携を強化するために両者を併せて高中部と呼んでおります。



contents

- 1 青山学院教育方針・高等部の教育目標・青山学院の歩み
- 3 目次
- 4 **Rejoice Always**
いつも喜んでいなさい。
青山学院高等部 部長 ごあいさつ
- 5 **国際社会に対応する道しるべを**
スーパー グローバル ハイスクールとしての取り組み
- 7 **豊かな人間形成をめざして**
特色ある教育
 - 7 キリスト教教育
 - 8 国際交流
 - 9 「平和・共生」への取り組み
 - 10 大学との連携
- 11 **各自の関心に応じて、深く学ぶ。**
教科学習
- 14 特色ある選択科目
- 15 **思い出は自分たちの手で**
年間行事
- 17 **自主性を重視し、責任ある行動を促す。**
生徒会・ホームルーム
- 19 **仲間とともに、目標へ向かう。**
クラブ活動
- 21 **充実した施設・設備と、
明るく安らぎのある空間。**
校内施設
- 23 **卒業生の80%が
青山学院大学および短期大学へ進学。**
卒業生の進路
- 25 特集 輝く先輩方からのメッセージ
- 27 入試情報
- 29 入試Q & A



Rejoice Always

いつも喜んでいなさい。

青山学院高等部 部長

渡辺 健



みなさん、こんにちは。青山学院高等部スクールガイドを手にとっていただき、ありがとうございます。

冒頭の“Rejoice Always”は新約聖書の言葉ですが、みなさんはいつも喜んでいますか。

青山学院高等部は、いつも喜びが溢れる学校でありたいと願っています。学習において、クラブにおいて、行事において、そして何よりも仲間や教員との関係において。それは、人との絆が深まったり、人に貢献できたりした時の喜びこそが、もっとも深い喜びの一つであると信じるからです。

青山学院のスクールモットーは“地の塩・世の光”です。これは、イエス・キリストの教えです。「塩」は味付けに欠かせないものであると同時に防腐剤でもあります。「光」は、闇の中で道を照らします。この言葉は、世の中によい味を付け、荒廃を防ぎ、世が闇に包まれていても希望の光を与えていく、そのような人物像を指し示しています。一人ひとりが神に愛されている存在であり、それぞれが賜物を与えられ生かされているということを知り、その賜物を生かし、人々や社会に貢献できる人間になってほしいという願いがこめられています。このモットーを基盤に、スーパーグローバルハイスクールとしてのキーワードも“多様性の受容”と“サーバント・マインド”とし、「自分と異なる人を受け入れる包容力」や「人に仕える心」を育むことを大切にしています。

このスクールガイドをご覧になるとわかるように、この学校には普段の学びの他にもさまざまなプログラムが用意されています。ぜひ自分の意志をもって挑戦してみてください。そしてその中で、人との関わりにおいて大切なことは何か、ということをいつも意識してみてください。たとえば、英語力がついたり、留学生と話ができたりすることは大きな喜びとなるでしょう。しかしながら長い目で見れば、最も大切なのは「ただ英語を話すことができる」「国際社会で活躍できる」ということではない、ということに気づいてください。みなさんには、「グローバル社会で成功する」という夢より、世の中で本当に大切なことは何かという視点を常に心の中心において、「グローバル社会に貢献する」という思いをもって行動できる人になってほしいと願っています。

高等部に入学した皆さんの生活が喜びで満ち溢れることを祈っています。



Global Week フェアトレードセッション—東ティモールのコーヒー試飲会—

文部科学省より
「スーパー グローバル ハイスクール(SGH)」の指定を受けました



青山学院フィリピン訪問プログラム

スーパー グローバル ハイスクールとしての取り組み



英国リーススクール・イートン校、イタリアのレニャーニ校との短期交換留学プログラム



多民族国家カナダの暮らしや文化を学ぶカナダホームステイプログラム



青山学院大学に在籍する留学生とのコミュニケーション（英語、中国語、韓国語、ドイツ語、スペイン語）の場、チャットルーム

Global Leadership

- 海外提携校との交換留学プログラムで磨かれるグローバル感覚
- Global issueに取り組むことで築かれるリーダーシップ



各国大使館を通して来校するゲストの話聞き、国際的な知識や理解を深める大使館レクチャーシリーズ

Servant Mind

- 途上国や被災地を実際に訪ねることで育まれる世界へのまなざし
- 大学と連携した学問で深まるグローバル社会の構造的な問題の理解

本校は2015年度、文部科学省からスーパーグローバルハイスクール（SGH）の指定を受けました。将来、国際的に活躍できるグローバルリーダーを育成することを目的に、文部科学省が2014年度からはじめた事業です。

本校では、「多様性の受容を基盤とした『サーバントマインド』を持つグローバル・リーダーの育成」をテーマに、今まで行ってきた語学教育、国際交流等の様々な取り組みをさらに発展させ、一人ひとりの個性と成長段階に合わせた多様なプログラムを用意して、在学中の教育によってグローバルマインドを身につけた生徒たちに、国際社会に対応する道しるべを提示したいと考えています。



オールイングリッシュでグローバルな課題を討議する多文化共生キャンプ



東ティモールのコーヒー生産農家を訪ね、フェアトレードについて研究する東ティモールスタディツアー



宮古の高校生との交流や復興支援ボランティアなど、被災地岩手県宮古市との交流

特色ある教育 COMPREHENSIVE EDUCATION

豊かな人間形成をめざして



キリスト教教育

Christianity-based Education

真実を求める心を培い、神や人生について深く考える力を育てる。

キリスト教教育は、米国メソジスト教会の宣教師によって建てられたこの学校の教育の根幹を成すものです。生徒たちがキリストの愛に触れ、自己の生き方を見つめ、社会に貢献する若者として巣立ってくれることを願っています。

毎日の礼拝

全校生徒と教職員がともに講堂に集い、聖書の御言葉（みことば）を通して自らを振り返る毎日の礼拝は、この学校の教育の根幹をなすものです。

週一回、各クラスで行われるホームルーム礼拝では、生徒が司会、話、奏楽等を担当します。

週一回の聖書の授業

一生の教科書として聖書を学び、正義や愛、自分に与えられた使命などについて深く考えます。

キリスト教に触れるさまざまな行事

夏休みのグリーンキャンプ、冬休みのホワイトキャンプは、大自然の中で仲間との親睦を深め、聖書を学び、神様や人生について考える機会です。また、クリスマスやイースター、特別礼拝などを通して、キリスト教に深く触れていきます。



▲全校礼拝



▲ホームルーム礼拝



▲グリーンキャンプ（高等部追分寮にて）



▲イタリア・レニャーニ校との交換留学

国際交流

International Exchange

国や文化の違いを超えて、他者を理解することのできる人間を育てる。

本校の国際交流が目指すものは、「価値観の多様性 (diversity) の共有」です。これは、世界中の人々が「愛と平和」のうちに互いを認め合い、共に生きるというイエス・キリストの教えに根ざしたものです。本校はその思想を実践し、グローバル化の時代に対応できる人間の育成に励んでいます。

学校間交流

英国の名門パブリックスクールであるリーススクールとイートン校、ルネサンスの文化を色濃く残すイタリア・ミラノ郊外のサロンノ市にあるレニャーニ校との間で、それぞれ数名の生徒による短期交換留学を実施しています。



▲英国イートン校との交流

長期海外留学

各種留学斡旋機関を通して1年間の留学をする生徒が年間15～20名程度、各学年にわたって存在します。帰国後に同じ学年に復学する第一種留学と、年下の学年に復学する第二種留学の制度があります。

帰国生教育

本校は1970年代から、毎年一定数の帰国生を受け入れてきました。帰国生は普通のクラスに入り、異文化の体験者として周囲に影響を与えます。一方、帰国生が円滑に学校生活に順応できるよう、国際交流委員会の教員が「アドバイザー」となって、学校生活や学習の問題の相談に個別に応じる体制を整えています。

カナダ・ホームステイ

夏休みに2週間、約30名でトロント市近郊のベリー市を訪問します。地域の施設（老人ホーム・YMCA等）の訪問、チャリティー活動、ナイアガラの滝見学、大リーグ観戦、カヌー体験など様々なイベントが用意され、異文化や大自然を体感できるだけでなく、英語力を試す格好の機会となっています。



▲カナダホームステイ

長期留学生受け入れ

毎年数名の海外からの長期留学生を引き受けています。留学生はホームルームに所属してクラスメイトと共に授業に出席し、学校行事に参加するなかで、国際理解の重要な役割を担っています。



▲多くの生徒が参加した国際・スウィーツフェスティバル



Log Book

「過去を見つめる」「現在を知る」「未来を描く」という共通テーマの下、様々な教科を横断した総合的な平和・共生学習の記録ノート(学習ノート)である「Log Book」を制作し、生徒一人ひとりが平和の実現者となるべく、学習活動を行っています。



▲3年間かけて取り組む「平和・共生 Log Book」

「平和・共生」への取り組み

An Emphasis on Peaceful Coexistence

人を愛し人に奉仕し、世界の平和に貢献できる人間を育てる。

本校では、「助けを必要とする人の隣人となる」という聖書の教えを実践的に捉え、大きな学びとすることを期待して、「平和」や「共生」をテーマとしたさまざまな校外学習のプログラムを実施しています。

修学旅行を中心とした平和学習

本校の修学旅行は、2年生の11月に九州を訪れます。太宰府天満宮、柳川、吉野ヶ里遺跡、軍艦島、九十九島めぐりなど各クラスで決めた見学地を訪れ、歴史や自然を学びます。長崎では原爆資料館を見学し、被爆者の方々の体験談を直接伺って、平和について深く考える機会をもちます。さらに、修学旅行の事前・事後学習の域を越えて、3年間かけて様々な教科の中で「平和・共生」学習を実施しています。二・三次から三年次にかけては、生徒一人ひとりが「平和・共生」に関連するテーマを定めて研究論文を執筆することで、学びの集大成とします。



▲被爆者のお話を聞く

岩手県宮古市の高校との交流

被災地宮古の皆さんへの「復興への励まし」につながることで、また本校の生徒たちが「助けを必要とする人の隣人となる」という聖書の教えを実践的に学ぶことを期待して始めた宮古の高校との交流も、7年目を迎えました。これまでに運動部の親善試合、文化祭でのチャリティグッズ販売、本校生徒会執行部の先方の学校訪問など、交流を重ねています。



▲宮古市訪問

青山学院フィリピン訪問プログラム

フィリピン訪問プログラムは、青山学院の初等部から大学までの合同プログラムで、高等部からは、隔年で希望生徒数名が参加します。CFJ(チャイルド・ファンド・ジャパン)の協力のもと、支援先の子どもたちを訪ねてその生活に触れ、あたたかい交流をもつことによって、世界が抱える貧困の問題について知識だけでなく心の繋がりをもち、理解することを目的としています。



▲フィリピン訪問



▲「クリエイティブに生きる～青山の街と大学、そして皆さんの人生」(2016年度総合文化政策学部講座)

大学との連携

University Connections

総合的判断力、洞察力をもち、自分の人生の進路を切り拓く力を育てる。

同じ敷地内に大学のほとんどの学部があるという恵まれた環境を活かし、大学との連携を深め、一貫教育のさらなる良き実りを得ることをめざします。

学問入門講座

本校では、土曜日の午前中に「学問入門講座」を実施しています。青山学院の大学・専門職大学院・女子短期大学の教員が、それぞれの専門分野について高校生にわかりやすく講義するもので、大学の教室を使って、年10回、各回平均3講座、年間で約30講座程度が開講されます。生徒は自分の関心のある講座を自由に選び、2時間の充実した学びの時間を過ごします。大学での学問研究の面白さ、奥深さに触れることができ、卒業後の進路選択にも役立つという感想が多く聞かれます。



▲「身の回りのLED～エコで明るい優れもの～」(2017年度理工学部講座)



▲「臨床心理専門職と心理療法の実践」(2017年度教育人間科学部心理学科講座)

3年生による大学授業の履修

2015年4月より、3年生の希望者が放課後に青山キャンパスの大学の授業を履修して、内部進学した際にその単位が認められるという制度を開始しました。大学生と一緒に場で授業を受けることは、高等部生にとって、現在実施されている「学問入門講座」とはまた違った意味で、知的探究心の向上につながると期待しています。

2017年度 学問入門講座テーマ

学部	学科	講義テーマ
文学部	英米文学科	●「風景」を見る視点 (私とはどこにいる誰なのか?)
	フランス文学科	●フランス文学における書くこと、読むこと、食べること
	日本文学科	●古代のブックデザイン
	史学科	●歴史学は役に立つか? ー感染症の歴史学をめぐるー
	比較芸術学科	●「ホラー」から入る、映画研究入門
教育人間科学部	心理学科	●臨床心理専門職と心理療法の実践
経済学部	経済学科	●社会・経済を知るための統計学の数理
	経済学科	●教育・格差・幸福度の経済学
法学部		●法学と古典学ーオデュッセウスの記憶
		●人権とはなにか? その意味と意義を考えよう
経営学部	経営学科	●金融分野の学習ガイダンスと投資家心理の研究紹介
	経営学科	●会計学入門 ー会社の中での会計の役割とはー
国際政治経済学部	国際政治学科	●国際政治学科の学生がつかむ国際社会: 国際テロ問題を素材として
	国際経済学科	●汚職と独禁法の経済学
	国際コミュニケーション学科	●中国二千年とコミュニケーション
総合文化政策学部		●クリエイティブに生きる ー青山の街と大学、そして皆さんの人生
		●生命を捉えなおす
		●コンピュータとデザイン
理工学部	物理・数学科	●幾何学の使われ方(だまし絵、カオス)
	電気電子工学科	●身の回りの発光ダイオード(LED) ーエコで明るい優れものー
	経営システム工学科	●身近な人工知能
社会情報学部		●経済学・経営学・統計学
		●トップアスリートのパフォーマンスを科学する ●コンピュータが動く仕組み
地球社会共生学部		●インターネットと言論
		●高校生から始める国際貢献テクニク ー人道支援とクリスマスツリーー
法務研究科		●法律家による社会へのアプローチ ー同性婚とLGBT支援を題材にー
国際マネジメント研究科		●ゲーム理論とマネジメント
会計プロフェッション研究科		●会計プロフェッション 公認会計士という仕事
短大子ども学科		●児童文学を通して 人間や社会と深く出会おう
短大現代教養学科 人間社会専攻		●青山に空襲があったー何を学び、 いかに伝えるか
キリスト教関連科目		●青山学院が目指す 「サーバント・リーダー」とは?

国際理解・留学準備プログラム

早い時期から海外への関心を高めてグローバル感覚を養うことを目的として、大学国際交流センターと共催で以下の3つの特別講座を設けています。

- 海外体験の魅力やグローバル化への対応等の講義を含む「総合オリエンテーション」
- 海外留学の際に必要なとされる英語検定「IELTS(アイエルツ)」の対策講座
- 大使館担当者が、自国文化の紹介や日本との繋がりを英語で講義する「大使館講義シリーズ」



▲大使館講義(マレーシア)の様子



教科学習 EDUCATIONAL SYSTEM

各自の関心に応じて、深く学ぶ。

教育課程

本校は授業週5日制を実施しており、1日6時限で50分単位の授業を行っています。「教科の学習を通して、総合的判断力・洞察力をもち、自分の人生の進路を切り拓く力をもつ人間の育成に努める」という目標により、カリキュラムが作成されています。

2年次からは文・理の選択科目が置かれ、3年次ではカリキュラムの半分を占めます。各自の関心のある科目をより深く学習できるようになっており、青山学院大学への内部進学はもちろんのこと、多様な進路選択にも対応できるものとなっています。また、必修の英語ではホームルームを習熟度別のクラスに分割し、学習効果を高めています。

土曜日には総合的な学習の時間の一環として、青山学院大学・同女子短期大学の先生方による《学問入門講座》(▶10ページ)を開講し、進学指導にも役立てています。

(注1) 理科の履修科目に関しては、2年次までに3科目を履修するものとする。化学基礎を履修しなかった場合は地学基礎を履修するものとする。
 (注2) 標準古典、地理A、数学B、数学I・A演習、物理I、地学基礎、音楽I・II、美術I・II、オール・コミュニケーションA、リテラチャー、英語演習A
 (注3) 古典B、日本史B、世界史B、地理B、数学Ⅲ(α)、物理、化学、生物、**選択音楽 ▶14ページ**、**選択美術**、**上級英語 ▶14ページ**
 (注4) 聖書特講、**国語表現 ▶14ページ**、漢文、文学史、国語特講、地理特講、世界史特講A・B、現代史特講、日本史特講A・B、**現代社会特講 A・B ▶14ページ**、数学Ⅲ(β)、数学演習A・B、数学基礎演習、数学特講、物理I、化学I、生物総合、地学、環境科学、体育特講A・B、球技A・B、音楽II・III、美術立体、美術平面、書道I・II、工芸I・II、オール・コミュニケーションB、メディア・イングリッシュ、**リスニング・コンプリヘンション ▶14ページ**、英語演習B、英語特講、フランス語、ドイツ語、中国語、韓国・朝鮮語、被服基礎、食物基礎、ICT活用探求実践
 ※一部変わる場合があります

学年	1年	2年	3年
1 聖書 ▶12ページ	聖書 (1)	聖書 (1)	聖書 (1)
2 国語 ▶12ページ	国語総合 (4)	現代文B (2)	現代文B (3)
3 地歴公民 ▶12ページ	世界史A (2)	日本史A (2)	政治・経済 (3)
4 数学 ▶12ページ	数学I (3)	現代社会 (2)	3単位選択科目(注3)から3科目を選択(9)
5 理科 ▶12ページ	数学A (2)	数学Ⅱ (5)	
6 保健体育 ▶13ページ	生物基礎 (2)	物理基礎 (2)	体育 (2)
7 芸術 ▶13ページ	体育 (2)	体育 (3)	
8 外国語 ▶13ページ	保健 (2)	コミュニケーション英語Ⅱ (3)	コミュニケーション英語Ⅲ (3)
9 家庭 ▶13ページ	音楽I(2)、美術I(2)、音道I(2)、工芸I(2)から1科目を選択	英語表現Ⅱ (2)	英語表現Ⅱ (2)
10 情報 ▶13ページ	コミュニケーション英語Ⅰ (3)	古典B 又は 化学基礎 (3) (注1)	2単位選択科目(注4)から3科目を選択(6)
11 家庭 ▶13ページ	英語表現Ⅰ (2)	2単位選択科目(注2)から2科目を選択(4)	
12 情報 ▶13ページ	家庭基礎 (2)	社会と情報 (2)	
13 総合的な学習の時間	総合的な学習の時間		
14 ホームルーム	ホームルーム		

聖書

Biblical Studies



青山学院の心を学ぶ。

聖書の授業は、一教科の学びとして位置づけられていますが、学問的な領域にとどまらず、「地の塩、世の光」の表す人間形成を目指し、この時代を生きていくことについて聖書から学びます。青山学院の学びの土台となる授業です。



地歴・公民

Social Studies



身近なことから世界を広げる。

①現代の複雑な世界が形成されてきた過程をさぐる歴史、②地域的・空間的視野から自然や社会をとらえる地理、③政治・経済などの社会的構造から物事をとらえる公民、という三つの大きな視野から社会現象を見ていきます。また、選択科目の特講では、グループ学習、レポート、討論、発表などを通じて、自ら調べて考えるなかで、主体的な学習能力、課題に対する分析力、論理的思考能力、表現力など、これからの社会を担う力を育てることを目標とします。

数学

Mathematics



数学は文化である。

数学は、先人たちが長い時間と多大な労力を費やして発展させてきたものです。このような「文化」としての数学を学ぶことを念頭におきながら、現代文明に必要な不可欠な数学的素養を培います。2年生では、少人数制の習熟度別演習の時間を設けています。授業を通して数学の基本的な技術を習得することにより、柔軟な論理的思考や創造性が生まれます。そして身につけた知識を駆使し、自ら問題解決ができる能力を育みます。

国語

Japanese Language And Literature



言葉を正しく理解し、自分を表現する力を養う。

国語科の目標は「読解力を養い、表現力を身につける」ことにあります。高等部では近・現代の文学に加えて古典にも重点をおき、生徒一人ひとりの日本文化総体に対する関心が深まることを最終的な目標としています。

理科

Sciences



冷静な分析と総合的な判断。

環境問題をはじめ現代社会は多くの問題をかかえています。その責任が科学にあると言われることもあります。はたしてそうでしょうか。冷静に問題を分析し、誰にでもわかる言葉で解決の道筋を模索することが問われているのではないのでしょうか。理科において一番大切なことは自然から学ぶことです。そのため実験や観察を重視し、できる限り多くの時間を割くようにしています。

外国語

Foreign Languages

「英語の青山」の名にふさわしい良き伝統。

英語を学ぶことを通して、普遍的なものを追い求める心を養い、広く世界全体に目を向けて、国や文化の違いを超えて社会に貢献できる人を育てることを目指します。必修授業では習熟度別に授業を行い、各生徒が自分のレベルに合ったスピードで英語を学習できるように配慮しています。選択の授業では、英語を道具として使い映像作品を製作して発表する発信型の授業、長文読解や文法演習を行う授業、CNNやNews websiteを扱う授業など、生徒のニーズに合わせた幅広い種類の授業を用意しています。

また、第二外国語として、フランス語、ドイツ語、中国語、韓国・朝鮮語を選択することもできます。



文化祭での英語スピーチコンテスト

保健体育

Health And Physical Education



心身ともに強く成長することを願って。

生涯体育を実践する基礎を培う高校時代。青年期に必要な運動量を確保し、自分たちで創意・工夫、協力して運動が行える種目を指導しています。保健では身近な事柄を教材にとりあげ、実践的な健康・安全管理ができて学習の中心目標としています。

家庭科

Home Economics



生活全般を実践的に学ぶ。

家庭科では、人間が生きていくために欠かせない、衣・食・住の基本的な知識および技術を学ぶだけでなく、現在の家庭を取り巻く諸問題にも目を向けて、自立した生活者としての意識を高め、自分はどういう生活・人生を送りたいのかを考える機会を与え、自分の生活・人生をデザインする力を身につけることを目指します。

芸術

Art



心を豊かに。

音楽では、①知識を増やし・感性を磨き・技術を高める事によって、より「美しい音」を知り・感じ・表現する事、②そして、誠実にかつ真摯に音楽に向きあい取り組んでいく心と身体姿勢を学びます。
美術では、さまざまな素材に触れ、感性や創造性を養い、個人の能力を高めるとともに、幅広い表現力を養います。また、美術やデザインを発する最先端の環境を生かして、美術館やギャラリーなどを見学します。

情報

Information And Communication Technology



欲張りに探究する心、的確に判断する力を。

次の3本柱を中心に、その知識と技術を身につけることを目標にしています。

- I. 情報処理の大切さと注意すべき点心得る
- II. 情報処理の道具として、ハードウェアの仕組み、ソフトウェアの使い方を習得する
- III. IおよびIIを踏まえながら、1つのテーマに関する問題解決や調査研究の進め方を体験学習する

上級英語

英語で考える「世界の現状」

外国語 ▶ 13 ページ

今日世界が抱える問題（戦争、差別、貧困など）について学んでいます。これらの問題が互いにどのように結びつき、その背後にどのような原因があるのかを考えます。その過程において、生徒は各テーマに関連した約400の表現を学び、それらとつながりの深い言葉を自ら考えます。その上で話し合い、発表へと展開させていきます。高等部の中でもっともチャレンジングな授業のひとつです。ネイティブ教員が担当。



特色ある選択科目

ELECTIVE SUBJECTS

国語表現

「書く」ことで表現力・思考力を磨く

国語 ▶ 12 ページ

基本的な技術や表現の工夫を確認しながら、さまざまに考えたことを文章にします。互いの文章への批評や、ディベート形式の議論、グループ発表等も行い、意見や主張を理解し合う経験を重ねています。

論理的文章だけでなく、自由な発想で「書く」ことを楽しむ課題もあり、表現力・論理的思考力をバランスよく身につけることを目指しています。年度末には編集委員をたてて記念文集を作成しています。



現代社会特講B(国際社会と日本)

「日本のあるべき姿」について

ディベートする公民 ▶ 12 ページ

今日の、そしてこれからの日本は国際社会においてどのような役割を果たしていくべきか—というテーマで、調べ学習や討論を通じて自分自身の考えを確立していくことを目標にしています。具体的には、「憲法第9条を改正すべきか」、「集団的自衛権の行使容認をどう考えるか」、「日本は過去の戦争とどう向き合うべきか」などの議題を設定して、グループごとに話し合い、資料を集め、作戦を練った上で、ディベートを行います。また、論理的・分析的なレポートの書き方も学びます。



リスニング・コンプリヘンション

「生きた英語」を身につける

外国語 ▶ 13 ページ

スピーチ、ニュース、ヒットソング、映画などのディクテーションを通して、文法、語法、発音、英語の正しい発話の仕方などを体系的に学んでいく授業です。歴史上の名スピーチを聴き取って暗唱し、それを講堂の舞台上で発表してみたり、集大成のグループプロジェクトとして、映画のアフレコ制作に取り組んだりしています。アフレコでは班ごとに映画の台詞を聴き取って台本を起し、映像に合わせて皆が役を演じながら、自然と生きた英語を身につけていきます。



選択音楽

オペラの世界に触れる

芸術 ▶ 13 ページ

選択音楽では、オペラについて勉強します。舞台上で歌い演じるキャストはもちろん、大道具・小道具・衣裳などの舞台装置や美術も手作りで行っています。これまで、「魔笛」(写真)、「コシ・ファン・トゥッテ」、「フィガロの結婚」といったモーツァルトの作品を中心に取り上げてきました。今後も様々なオペラの様々な場面を取り扱い、音楽的な力だけではなく多種多様な仕事を一つの「形」に創り上げる「アンサンブル力=生きる力」を育てていきます。



APR. 4
MAY. 5
JUN. 6
JUL. 7
AUG. 8
SEP. 9
OCT. 10
NOV. 11
DEC. 12
JAN. 1
FEB. 2
MAR. 3

思い出は自分たちの手で

- 入学式
- 新入生歓迎会
- クラブ紹介
- イースター礼拝
- 定期健康診断
- ホームルームデー
- 3年進学指導会
- バレーボール大会
- 伝道週間
- 生徒集会 (ミュージック フェスティバル)
- グローバル・ウィーク I
- 夏期行事
グリーンキャンプ
クラブ合宿・強化練習
カナダホームステイ
生徒会サマーキャンプ
- 夏期行事
クラブ合宿・強化練習
- 文化祭
- レンジャー二校生徒訪問
- 2年進学指導会
- グローバル・ウィーク II
- 伝道週間
- リースクール生徒訪問
- 2年修学旅行
- 青山学院創立記念日
- 2年女子ダンス発表会
- クリスマスツリー点火祭
- クリスマス礼拝
- スキー教室
- 推薦入試
- 帰国生入試
- 2年男子体育大会
- 一般入試
- 卒業礼拝
- 送別会
- 卒業式
- スキー教室
- クラブ合宿



入学式



文化祭

高等部の文化祭は、毎年秋に開催されます。このイベントのために文化祭実行委員会が組織され、選挙で選ばれた実行委員長のもとに各パートが知恵を出し合って準備がなされます。一般公開の2日間は各参加団体が1人でも多くのお客様に楽しんでいただこうと競い合います。



バレーボール大会

ホームルームデー

1、2年生を対象に、毎年5月の初旬にホームルームデー（クラス単位で行く日帰り旅行）を行っています。各クラスで自分たちの行きたい場所を独自に選び、企画運営し、親睦を深めています。



7:30
開門

8:15 ▶ 9:05
1 時限

9:15 ▶ 10:05
2 時限

10:15 ▶ 10:35
礼拝

10:40 ▶ 11:30
3 時限

11:40 ▶
4 時限

12:30
12:30 ▶ 13:20
昼休み

13:20 ▶ 13:30
HR

(木曜日 13:20 ▶ 14:10)
13:40 ▶ 14:30
5 時限

(木曜日 14:20 ▶ 15:10)
14:40 ▶ 15:30
6 時限

(木曜日のみ) 総合的な学習の時間
15:20 ▶ 16:00
7 時限

18:00
終鈴



2年修学旅行

2年生の11月に、各自研究テーマを持って九州の唐津、長崎、雲仙を訪れます。太宰府天満宮、原爆資料館、軍艦島などさまざまな見学地が盛り込まれ、行く先々で歴史、自然、文学、生活、産業、地理などを学び、平和について考えます。

2年女子ダンス発表会

体育科では、ダンス授業の集大成となるようにダンス発表会を行っています。自分たちのもてる力を十分発揮すること、またクラスやグループでの協力・結束力が高まることを期待しています。



スキー教室



クリスマス礼拝

クリスマス礼拝は、毎年12月、全校生徒で行っています。教会の牧師を招き、クリスマスメッセージを聞くほか、聖歌隊によるクリスマス讃美歌、クリスマス祝会など、イエス・キリストの降誕を全校生徒で祝います。



卒業式

SCHOOL CALENDAR
年間行事

SCHOOL LIFE
高等部の一日



登校



授業



礼拝



昼休み



放課後



生徒会・ホームルーム

STUDENT COUNCIL AND HOMEROOM

自主性を重視し、責任ある行動を促す。

生徒会組織と
生徒会主催の
学校行事



◀生徒会三者協議会
生徒会会長と副会長、各委員会の長で構成される三者協議会は、生徒会の中心となって活動しています。バレーボール大会など生徒会主催行事の企画から運営に至るすべてを担当するほか、より良い学校生活を送るための議論やルール作りにも積極的に取り組んでいます。



◀文化祭実行委員会
文化祭は、選挙で選ばれた本部役員を中心に組織された「文化祭実行委員会」により企画・実施されます。文化祭期間の2日間、全校生徒は各ホームルーム、有志団体、クラブなどさまざまな場で、個性溢れる企画や日頃の努力の成果を披露します。



◀ミュージックフェスティバル
毎年6月には、生徒会の集會委員会が企画・運営するミュージックフェスティバルが行われます。バンドを中心にダンス、その他パフォーマンスなど、激戦のオーディションを勝ち抜いた団体が熱演を繰り広げます。



◀バレーボール大会
学年別クラス対抗で行われるバレーボール大会は、生徒会を中心に、各ホームルームから選ばれた運営委員とバレーボール部員の手により運営されています。昼休みには、ほぼ年間を通してバレーの練習に打ち込む姿が見受けられるほど、全校生徒が熱くなる行事です。



◀生徒会主催有志運動会
生徒会主催の運動会は、生徒の要望をもとに2013年度から始まりました。三者協議会のメンバーを中心に、企画から運営に至るまですべて生徒主体で行われ、綱引きやリレー、大玉転がしなどの競技に有志の生徒数百名が参加し、大いに盛り上がります。

生徒会は、自由な校風と言われる本校の自主的な活動の要を担っています。6月のバレーボール大会、9月の文化祭を柱とし、他にも新入生歓迎会や送別会、ミュージックフェスティバル、夏休み中の宿泊をともなったキャンプなど、さまざまな行事を企画・運営しています。

また、生徒の学校生活に関する要望を常時受け付け、学校の規則について全校生徒を巻き込んで議論し、ときにはそれを変える運動も展開してきました。他校との交流や、ボランティア活動なども活発に行っています。

クラスの仲がよく、行事が盛り上がるのは本校の特徴です。クラス対抗のバレーボール大会や文化祭では、皆の熱意と行動力が結集します。また、ホームルームデー（遠足）の行き先や修学旅行のコースなどは、生徒の代表を中心に各クラスが話し合って企画します。

このように、生徒の自主性を重んじる生徒会やホームルーム活動を通じて、一人ひとりの責任ある行動力が養われています。

真の自由とは…
「生活心得」に託された思い

青山学院高等部の生徒手帳には、学校が生徒に対して課す“校則”ではなく、教師と生徒の合議によって作りあげた“生活心得”が記載されています。“心得”の冒頭の「全員で努力していきたい」という言葉には、自由な校風を大切に、自主性と責任感を養ってほしいという思いが表れています。

生徒数 (2017年4月現在)

	ホーム ルーム数	男子	女子	計
第1学年	10	201	217	418
第2学年	10	207	222	429
第3学年	10	191	214	405
総計	30	599	653	1,252

School Uniform

服装

男子

- 男子冬期は濃紺のブレザーとズボン。ワイシャツ等は白または薄い単色。
- ネクタイは色・柄自由。
- 夏期は濃紺のズボンに白ワイシャツ・白ポロシャツ等。
- 略装として所定のスクールセーター・ベスト着用可。

女子

- 女子冬期は濃紺のブレザーで、スカートはひだつきの繊維製品で色は自由。ブラウスは白または薄い単色。靴下は白または紺。
- 夏期はひだつき濃紺無地のスカートと白ブラウス・白ポロシャツ等。靴下は白または紺。
- 略装として所定のスクールセーター・ベスト着用可。



夏服

夏服

冬服

冬服

略装

略装



ライフ・サイエンス部



生花同好会



イラスト同好会



弦楽アンサンブル同好会



茶道同好会



調理研究同好会



演劇部



美術部



ブラスバンド部



マドリル・ギター部



オルガン部



出版部

仲間とともに、目標へ向かう。

クラブ活動 CLUB ACTIVITIES

クラブ活動は、人格形成の大切な機会として、各クラブの裁量に任せて生き生きと行われています。生徒の多くは、内部進学が可能な学校の特徴を生かして、3年生の半ばまで活動に打ち込んでいます。

2016年度 クラブ表彰(主なもの)

運動系クラブ ●**剣道部** 平成28年度 渋谷区春季体育大会(剣道)高校女子の部 第3位、二段以下一般の部 第1位、第2位、第3位(2名) ●**水泳部** 東京都高等学校春季水泳競技大会 女子100mバタフライ 第6位・平成28年度東京都高等学校総合体育大会 女子100mバタフライ 第3位・平成28年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会 第84回 日本高等学校選手権水泳競技大会 男子高飛込 第5位、飛込競技男子総合 第6位、男子シンクロナイズド3m飛板飛込 第3位・平成28年度 関東高等学校水泳競技大会 飛込男子総合5位・東京都高等学校新人水泳競技大会 女子50mバタフライ 第2位 ●**柔道部** 第65回東京都高等学校柔道選手権大会兼第64回関東高等学校柔道大会 東京都予選会 第2支部予選 男子団体戦 第5位、第66回 東京都学年別大会 男子団体1学年の部 第2支部予選 第5位、第66回 東京都学年別大会 男子団体2学年の部 第2支部予選 第9位・平成28年度 支部新人大会 男子55kg級 第2位、第3位、男子無段-70kg級 第8位・平成28年度 第42回東京都高校新人柔道大会兼第39回全国高校柔道選手権大会東京都第二支部予選会 男子66kg級 敢闘賞、男子団体戦 敢闘賞 ●**チアリーディング部** 全国高等学校ダンスドリル選手権大会2016 関東大会 CHEER部門 第1位・平成28年度関東ダンスドリル秋季競技大会 CHEER部門 第1位・USA Regionals 2017 千葉大会 高校編成Show Cheer-Novice部門 第1位、Dance Drill Winter Cup 2017 第8回全国高等学校ダンスドリル冬季大会 CHEER部門 第1位 ●**男子テニス部** 東京都高等学校テニス選手権大会 男子シングルス 優秀賞・東京都テニス協会 ジュニアチームチャンピオンシップ 団体戦男子 ブロック優勝・東京都高等学校テニス選手権大会 男子シングルス 優秀賞・第55回東京都高等学校新人テニス選手権大会 男子ダブルス ベスト8・第55回東京都高等学校新人テニス選手権大会 男子シングルス 優秀賞 ●**馬術部** 関東高等学校自馬競技大会 馬場馬術競技A2科目 第3位、小障害C-2飛越競技 第1位、第2位 ●**男子バレーボール部** 第24回 関東私立高等学校男女バレーボール選手権大会 第1位 ●**女子バレーボール部** 春季リーグ戦兼春季大会予選 優勝・東京都新人リーグ戦 優勝 ●**女子ハンドボール部** 平成28年度東京都ハンドボール秋季大会兼全国高校ハンドボール選抜大会都予選 敢闘賞(ベスト16) ●**フェンシング部** 東京都高等学校フェンシング選手権大会(全国総体予選) 第3位・第52回東京都高等学校フェンシング新人大会 学校対抗フルール 第2位、個人対抗フルール 第3位 ●**ラグビー部** アシックスカップ2016 第3回全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会 東京都予選 第3位

文化系クラブ ●**美術部** 全日本学生美術展 佳作(3名) ●**ブラスバンド部** 第56回東京都高等学校吹奏楽コンクール A組 銀賞



聖歌隊



ABF(聖書交友会)



ハンドベル部



ボランティア部



放送部



剣道部



硬式野球部



ゴルフ部



サッカー部



柔道部



水泳部



ソフトテニス部



卓球部



チアリーディング部



男子テニス部



女子テニス部



馬術部



男子バスケットボール部



女子バスケットボール部



バドミントン部



男子バレーボール部



女子バレーボール部



男子ハンドボール部



女子ハンドボール部



ラグビー部



陸上競技部



ダンス部



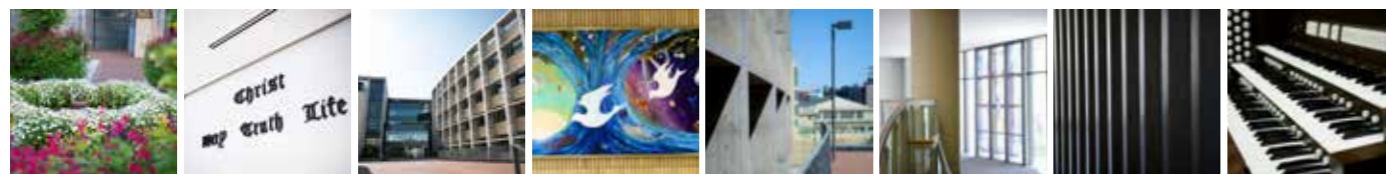
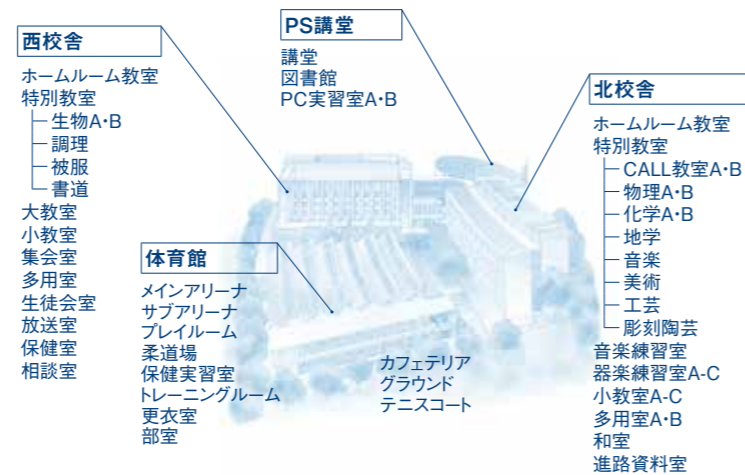
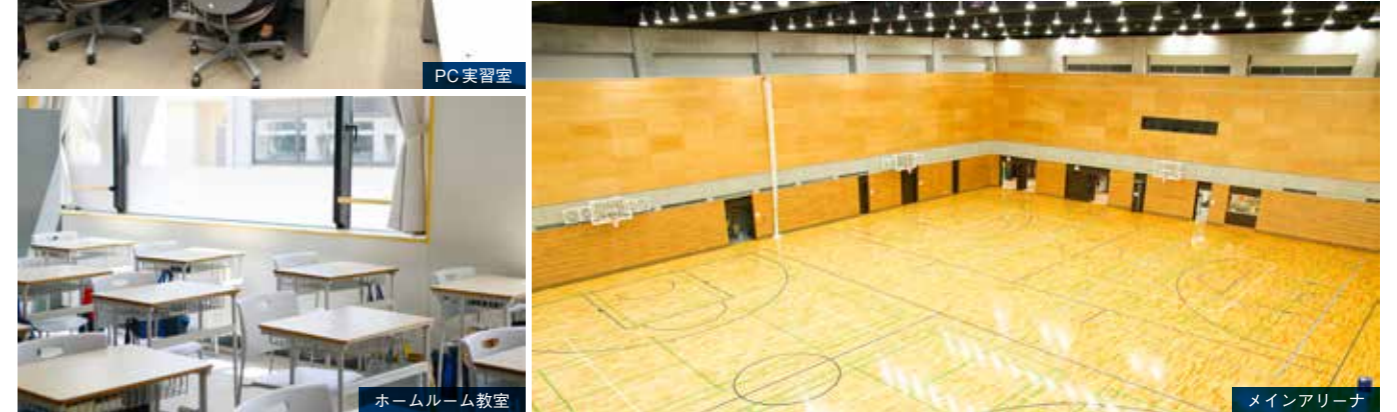
フェンシング部

校内施設 EDUCATIONAL FACILITIES

充実した施設・設備と、 明るく安らぎのある空間。

2008年に始まった校舎建築。2014年夏に体育館、中庭、カフェテリアが完成し、すべての工事が完了しました。古き良き伝統を受け継ぎながらも、時代の要請に沿って機能性、安全性の高い快適な環境づくりを進め、未来の教育の場にふさわしい校舎が誕生しました。

明るい校舎と充実した施設・設備により学習環境が向上し、広々とした空間でクラブ活動もより一層のびのびと行えるようになりました。噴水のあるウッドデッキの中庭や、大きな藤棚に面したカフェテリアは、生徒たちの憩いの場となっています。



卒業生の進路 POST GRADUATION

卒業生の80%が
青山学院大学および短期大学へ進学。



高等部を卒業する生徒の約80%は、青山学院大学および同女子短期大学へ進学しています。その他専攻分野などの関係で他の大学を受験する生徒が約20%おります。内部進学は、高等部3年間の学業成績、3年次に行われる2回の学力テストの結果その他を総合的に判断して推薦が行われ、大学側の決定を経て、入学が認められています。

卒業生の進路

青山学院大学及び青山学院女子短期大学への進学

			2017年	2016年	2015年
青山学院大学	文学部	英米文学科	21	29	25
		フランス文学科	1	3	0
		日本文学科	3	0	7
		史学科	3	2	1
		比較芸術学科	3	11	7
		教育人間科学部	教育学科	23	24
	心理学科	7	14	14	
	経済学部	経済学科	9	17	23
		現代経済デザイン学科	10	1	1
	法学部	法学科	20	10	19
	経営学部	経営学科	53	54	54
		マーケティング学科	32	31	31
	国際政治経済学部	国際政治学科	23	21	21
		国際経済学科	23	21	21
		国際コミュニケーション学科	14	13	13
	総合文化政策学部	総合文化政策学科	47	49	49
	理工学部	物理・数理学科	3	1	3
		化学・生命科学科	5	1	6
		電気電子工学科	0	1	1
		機械創造工学科	5	4	2
		経営システム工学科	1	0	5
		情報テクノロジー学科	8	6	5
		社会情報学部	社会情報学科	2	4
地球社会共生学部	地球社会共生学科	3	2	3	
計		319	319	346	
青山学院女子短期大学	現代教養学科	0	0	1	
	子ども学科	0	1	2	
計		0	1	3	
外部大学・その他		75	85	79	
卒業生総数		394	405	428	

他大学合格者

		(2017年4月現在) (国公私立50音順 過年度卒業生を含む)			
学校名		2017年	2016年	2015年	
国立大学	群馬大学	0	0	1	
	筑波大学	2	0	3	
	東京大学	0	1	2	
	東京医科歯科大学	0	0	1	
	東京外国語大学	1	0	0	
	東京藝術大学	1	1	0	
	東京工業大学	0	1	3	
	浜松医科大学	1	0	0	
	一橋大学	0	1	0	
	北海道大学	0	1	2	
	横浜国立大学	0	0	1	
	横浜市立大学	0	0	1	
	その他の国立大学	2	5	3	
	私立大学	岩手医科大学	0	3	1
		神奈川歯科大学	2	0	0
北里大学		2	6	8	
慶應義塾大学		23	18	20	
国際基督教大学		2	3	2	
埼玉医科大学		0	5	3	
上智大学		15	22	9	
昭和薬科大学		1	0	1	
聖マリアンナ医科大学		0	3	2	
多摩美術大学		1	0	4	
中央大学		4	5	2	
東京医科大学		0	4	4	
東京音楽大学		0	2	0	
東京歯科大学		1	1	0	
東京慈恵会医科大学		1	0	1	
東京女子医科大学		0	1	2	
東京薬科大学		4	2	1	
東京理科大学		11	7	7	
東邦大学		3	3	4	
日本医科大学		3	4	1	
日本歯科大学		2	0	1	
星薬科大学		0	4	1	
武蔵野美術大学		2	0	3	
明治大学	9	10	10		
横浜薬科大学	1	0	1		
立教大学	6	7	6		
早稲田大学	20	32	23		
その他の私立大学	40	60	42		
外国の大学・留学	0	8	2		

学院組織進路チャート



特集

輝く先輩方からのメッセージ

中山 俊宏 さん



プロフィール

1986年卒。青山学院大学国際政治経済学部国際政治学科卒業。現在、慶応義塾大学総合政策学部教授。専門は現代アメリカ政治・外交、日米関係、国際政治。メディアへの出演など幅広く活躍中。著書に「介入するアメリカ——理念国家の世界観」など。

高等部は人生の羅針盤が形成される空間

青山学院高等部に入ろうと思ったのは、ミッション系かつ自由な雰囲気な惹かれたから。また小学校の時、父の仕事の都合でN.Yに五年ほど住んでいたことから、英語の強い高校で勉強したい思いが強かったからです。

二年生の時、英語をブラッシュアップするため、青学が提携するインターナショナルフェローシップのプログラムでアメリカに留学。一年間、サウスダコタ州ウォータータウン高校二年生に編入し、卒業。青学高等部二年生に戻りましたので、合計で四年間、在籍した計算になります。

当時の私は、とにかく沢山の本を読みました。文学から始まり、様々な歴史書、哲学書。「誰も知らないことを知ってやろう」——それは衝動のようなもので、およそ体系的な学びではなく、吸収することそれ自体が目的だったと思います。

そんな中、ある数学の先生の持つ世界観に惹かれたことがあります。その先生は数字の「ゼロ」について語り始めることと止まらなくなってしまう方で、私は彼の中に「孤独な探究心」を見ました。そしてある日、英検一級に合格した際、私は壇上でスピーチをすることに。この時、原稿を見てもらったのは担任でも英語の先生でもなく、件の数学の先生でした。「世界について知りたい」想いが共鳴し、精神的な信頼感を感じて、重要な場面で頼ってみたいくなったのだと思います。

卒業後は大学、大学院へと進学し、ワシントン・ポスト紙の極東総局記者に。その後、日本政府国連代表部の専門調査員、日本国際問題研究所主任研究員を務め、現在に至ります。

今思えば、高等部時代は自分の生きる羅針盤のようなものが形成された時期。人の一番コアな部分が出来る時期にも思えます。自分で自分を探る意図がある人にとって、高等部は、自分の個性を開花させることができる空間なのではないでしょうか。自分が人と違うことを恐れず、一歩踏み出す勇気を持ってください。そして、掛け替えのない三年間を送ってもらえたらうれしく思います。

小川 彩佳 さん



プロフィール

2003年卒。青山学院大学国際政治経済学部国際政治学科卒業。07年にテレビ朝日へ入社し、アナウンサーに。同局「やじうまプラス」や「スーパーJチャンネル」のフィールドキャスターを経て、現在は「報道ステーション」3代目サブキャスターを担当。

宝物のような時間がきっとそこにあるはず

高等部時代を振り返った時、いつも思い出されるのはミュージックフェスティバルについてです。

同イベントは、生徒たちによるバンドが対バン形式で演奏するフェスティバル。音楽が大好きな私は、ステージ上で輝く皆さんと、ステージが与えるワクワクに、一気に心を奪われていました。

私は早速、その運営を担う生徒会「集会委員会」の門を叩きました。そして二年生の時、イベント全体をプロデュースする委員長を任されたのですが、ストレスから盲腸に…。高等部は個性を尊重する校風。中でもステージに上がらんとする人は特に個性が強い方ばかりだったのでしょ。ところがカーテンコールの際、そんな彼らが「一番頑張ったのは小川さん」と、私を舞台上に上げてくれたのです。改めて素敵なイベントだと思いました。そして、それを作ったのが彼らの個性であり、高等部の校風だと感じました。

文化祭も思い出深いですね。私たちのクラスは男女とも仲がよく、自由にアイデアが飛び交う光景も見られました。三輪車に風船を3つ付けた「マリオカート」は今もいい笑話です(笑)。

現在、私はテレビ朝日でアナウンサーを務めています。ミュージックフェスティバルの経験は今の仕事にも通じていて、最終的に放送に至るまでに関わる多くの人たちに思いを馳せながら、渡ってきたバトンを送るにのせる「アンカー」のような気持ちで取り組んでいます。自然にオープンに人と接する姿勢は高校時代に身についたもので、当時の同級生には今も助けられています。鎧も何も身につけていない自分の姿がそこにあり、そんな私を受け入れてくれる当時の仲間がいる場所は、自分が戻れる場所にもなっていると感じます。

人生の楽しい記憶や幸せな記憶には更新されていくものもありますが、10代半ばの感性で高等部で経験したことは上書きされず、別フォルダとして記憶に残るはず。宝物のような時間が、きっとそこにはある。皆さんにも、勿論勉強も頑張りつつ、自分がやりたいことを気持ちの赴くまま追いかけていって欲しいと思います。

中村 武彦 さん



プロフィール

1995年卒。青山学院大学法学部卒業後、NECに入社。マサチューセッツ州立大学アマースト校のビジネススクール・スポーツマネジメント修士課程に入学、卒業。スペインISDE法科学院に入学、卒業。MLS、FCバルセロナなどの国際部を経て、現「ブルーユナイテッド社(www.blueutd.com)」CEO、日本サッカーと米国サッカーの架け橋になることを根本姿勢に執筆活動など様々な分野で活躍中。

Photo Credit : Junko Ohira

自由な環境で育まれた
「自分はどうしたいのか」という発想

青山学院高等部時代は、視野や興味を広げ始め、価値観が大きく変わった時期でした。渋谷と言う立地、様々な背景を持つ刺激的なクラスメートたちとの出会い。先輩後輩の関係もフランクで、服装も考え方も自由な校風を通して、発想や考え方が縛られたりすることなく、「自分はどうしたいのか」という考えがこの頃、芽生え始めたのです。

それまで私は、ある種の「優等生」でした。中学校ではサッカーの強豪校に在籍しており、全国大会にも出場しました。本校以外の有名高校に合格する程には勉強もしていました。ですが、「自分はどうしたいのか」という発想が私に宿り、私の人生は変わっていったように思います。当然、私だけのことではありません。実際、当時の同窓生でユニークな人生を歩んでいる方は多くいます。

大学卒業後は何をしたいのかよく分からないながらも、10歳までアメリカで育った帰国子女だったので、海外と接点を持つ仕事に就くべく、日本電気(NEC)海外事業本部・北米営業部に就職。ですが「もっと興味のあることを仕事に」と考えるようになり、「真剣にプレーをしてきたサッカーであれば一生かけてやりたいことであるし、誰にも負けない。また生まれ育ったアメリカで働きたい」との想いから、アメリカの大学院でスポーツマネジメントを、そしてスペインの大学院でスポーツ法を学び、日本人として初めてメジャーリーグサッカー(MLS)やFCバルセロナ勤務を経て、15年に独立起業。コロンビア大学招待講師、青山学院大学地球社会共生学部非常勤講師を務めたり、Jリーグなどの海外進出を支援するコンサルティングに従事しています。

このように、想いや価値観は年を経るごとに変遷していくもの。皆さんの五年後、十年後も今の想像と違っていると思います。ですがそれは成長の証なのです。また、変化し続ける価値観に沿うには、やはり柔軟性が不可欠になります。私の場合は、高等部の自由な校風がその根幹を成してくれているのではないかと。今もそう考えています。

入試情報 INFORMATION

2018年度入学試験より インターネット出願を導入します。
詳しくは本校ウェブサイトをご覧ください。

2018年度入学試験について

	推薦入試	帰国生入試	一般入試
募集人員	男女合わせて約70名	男女合わせて約30名	男女合わせて約80名
出願資格	<p>1 本校を第一志望とし、合格の際は入学を確約できる者。</p> <p>2 2002（平成14）年4月2日より2003（平成15）年4月1日までに出生し、2018年3月に国内の中学校を卒業見込みの者。</p> <p>3 3年2学期の9教科の合計評定（5段階評定）が次の条件を満たしていること。 男子38以上、女子41以上、「2」以下の評定がないこと。</p> <p>※3年の2学期の評定とは、12月時点での成績で、中学校が教育委員会などへ提出する評定をいいます。</p> <p>4 3年次の欠席日数が5日以内であり、3年間の欠席日数の合計が15日以内であること。</p> <p>5 保護者のもとから通学可能な者（一般入試の項参照）。</p> <p>※私立の中学校で高校を併設している学校および中等教育学校（国公立・私立）の生徒は受験資格がありません。</p> <p>※上記の出願資格条件は、推薦入試合格を確約するものではありません。</p>	<p>1 海外在住期間が引き続き1年以上にわたり、現地校、国際校、または全日制日本人学校に在籍していた者で、帰国後2年10カ月以内（2018年度入試の場合、2015年6月以降の帰国）であること。</p> <p>※なお、本校への入学予定日（4月1日）を資格算定の基準とします。</p> <p>※本人が単独で海外留学した場合は該当しません。</p> <p>2 2001（平成13）年4月2日より2003（平成15）年4月1日までに出生の者で、次のA、Bのいずれかに該当する者。</p> <p>A 2018年3月に中学校を卒業見込みの者または2017年3月に中学校を卒業した者。</p> <p>B 海外の学校に就学している者等で、本校において、中学校卒業と同等の就学実績があると認められた者。</p> <p>3 保護者のもとから通学可能な者（一般入試の項参照）。</p>	<p>1 2001（平成13）年4月2日より2003（平成15）年4月1日までに出生の者で、次のA、Bのいずれかに該当する者。</p> <p>A 2018年3月に中学校を卒業見込みの者または2017年3月に中学校を卒業した者。</p> <p>B 海外の学校に就学している者等で、本校において、中学校卒業と同等の就学実績があると認められた者。</p> <p>2 保護者のもとから通学可能な者（本人のみの下宿、アパート、会社等の子弟寮からの通学は認めておりません）。保護者は父もしくは母が原則ですが、やむを得ない理由で不可能な場合は、東京またはその近辺に一家計を立て（就学中の兄・姉等は不可）、学校との連絡が容易にとれ、直ちに来校できる、親権者と同等の責任を持つ在京保証人が必要であり、入学後はその家庭から通学していただくことを条件といたします。</p>
選抜方法	適性検査・面接・書類審査	適性検査・面接・書類審査	国語・数学・英語（リスニングも含む）・書類審査
出願登録・受験料支払	インターネットのみ	インターネットのみ	インターネットのみ
出願書類受付期間	【郵送】1月15日(日)～1月16日(月) 〈締切日消印有効〉 【窓口】1月17日(火) 10:00～15:00 (時間厳守)	【郵送】1月9日(日)～1月10日(月) 〈締切日消印有効〉 【窓口】1月11日(火) 10:00～15:00 (時間厳守)	【郵送】1月25日(日)～1月26日(月) 〈締切日消印有効〉 【窓口】1月29日(木) 10:00～15:00 (時間厳守)
入学試験日	1月31日(日)	1月31日(日)	2月12日(日)・(祝)
合格発表・手続書類交付日	〈校内掲示〉 2月2日(日) 10:00～10:45 〈ウェブサイト発表〉8:00 予定	〈校内掲示〉 2月2日(日) 10:15～11:00 〈ウェブサイト発表〉8:00 予定	〈校内掲示〉 2月14日(日) 10:00～11:00 〈ウェブサイト発表〉8:00 予定
入学手続日	2月5日(日) 12:00～13:00	入学手続Ⅰ 2月5日(日) 14:00～15:00 入学手続Ⅱ 2月17日(日) 13:00～14:50	入学手続Ⅰ 2月15日(日) 14:00～15:00 入学手続Ⅱ 2月17日(日) 13:30～14:50

入試結果

	推薦入試						帰国生入試						一般入試					
	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率		
2017年	男女合わせて約70名	男子	67	66	34	1.9	男女合わせて約30名	男子	95	82	36	2.3	男女合わせて約80名	男子	343	285	77	3.7
		女子	123	120	40	3.0		女子	143	121	51	2.4		女子	510	449	79	5.7
		計	190	186	74	2.5		計	238	203	87	2.3		計	853	734	156	4.7
2016年	男女合わせて約70名	男子	80	78	34	2.3	男女合わせて約30名	男子	114	91	38	2.4	男女合わせて約80名	男子	331	275	93	3.0
		女子	115	114	40	2.9		女子	139	117	47	2.5		女子	484	415	131	3.2
		計	195	192	74	2.6		計	253	208	85	2.4		計	815	690	224	3.1
2015年	男女合わせて約70名	男子	46	43	34	1.3	男女合わせて約30名	男子	88	77	35	2.2	男女合わせて約80名	男子	257	204	85	2.4
		女子	98	97	39	2.5		女子	112	95	51	1.9		女子	432	364	89	4.1
		計	144	140	73	1.9		計	200	172	86	2.0		計	689	568	174	3.3

学費一覧

※下記学費等は事情により改定されることもありますので、あらかじめご承知おきください。
※納付方法は学期ごとの分納となります。

(2017年4月入学生)

	1年	2年	3年
入学金	320,000		
施設設備料	190,000	190,000	190,000
授業料	600,000	600,000	600,000
実習料	5,000	5,000	5,000
保健料(消費税込)	6,000	6,000	6,000
冷暖房料	12,000	12,000	12,000
後援会会費	22,000	22,000	22,000
生徒会入会金	5,000		
生徒会会費	12,000	12,000	12,000
修学旅行積立金	80,000	65,000	
卒業積立金			40,000
合計	1,252,000	912,000	887,000

入学初年度の費用としては、次のようなものがあります。

※一般入試・帰国生入試の入学手続に際し、施設設備料に限り、納付を延期することができます。

(2017年4月入学生)

入学前 (入学手続き時)	入学金	320,000
	施設設備料	190,000
	合計	510,000
入学後 (各学期ごと3回分納)	授業料	600,000
	実習料・保健料・冷暖房料	23,000
	後援会会費	22,000
	生徒会入会金・会費	17,000
	修学旅行積立金	80,000
合計	742,000	
その他の 購入費用	制服	40,000～60,000
	教科書	22,000～24,000
	体育着・シューズ等	38,000～46,000

奨学金制度

人物・学力ともに優れていながら経済的な補助を必要とする生徒に、東京都および各県の高校奨学金、独立行政法人日本学生支援機構大学予約奨学金等の奨学金制度があります。

本校としても次のような独自の奨学金制度を設けています。

給付奨学金	
青山学院高等部奨学金 (授業料減免補助)	<p>高等部の退職教職員・同窓会などからの寄付をもとにしたもので、次の2種類の内容に分かれています。</p> <p>1. 給付奨学金 経済的に特に困窮している生徒に対して給付の形で奨学金を支給します。</p> <p>2. 奨励賞 実用英語検定試験の合格者、読書感想文・感想画コンクール入賞者、また、クラブ活動など各分野における都道府県大会等において上位入賞するなど特別活躍した生徒に贈られます。</p>
青山学院スカラシップ奨学金	青山学院維持協力会および青山学院校友会から経済的に特に困窮している生徒に対して給付の形で奨学金を支給するもので、内容的には上記の高等部奨学金の1.に準じます。
青山学院万代奨学金 高等部特別奨学生	本学院の学友であり、理事でもあった故万代順四郎氏の寄付を基金として設けられたもので、学業成績、人物ともに優れた生徒若干名に顕彰のため奨学金を給付しています。
友情資金に基づく奨学金	生徒会で月1回、生徒の自発的意志によって献金されたものを、生徒会員の中で経済的補助を必要とする生徒に給付しています。
貸与奨学金	
青山学院万代奨学金	故万代順四郎氏の寄付を基金として設けられたもので、東京都および各県の奨学金制度の資格基準に準じて貸与しています。
授業料軽減制度	本校の制度ではありませんが、授業料軽減制度には次のようなものがあります。
東京都私立高等学校等授業料軽減助成事業	保護者と生徒がともに東京都内に居住しており、東京都内の私立高等学校等に通学している生徒の保護者に、その経済的負担を軽減することを目的として、授業料の一部を軽減する制度です。

入試 Q & A

Q&A

推薦入試

Q 適性検査の内容を教えてください。

A 本校における学習に必要な基礎学力を確かめるためのもので、国語（ただし古典を除く）・数学・英語の3つの科目全体で60分のテストです。（昨年度はマークシート式テストでした。）各教科の問題を20分程度の目安で解くように考えると良いでしょう。特に受験準備を必要とする出題内容ではありません。リスニング試験はありません。内容は公表していません。教科ごとに合格最低点（非公表）が設けられています。

Q 面接はどのような形式で行われるのですか。

A 昨年度は10分程度の個人面接でした。

Q 一般入試にも出願できるのでしょうか。その場合、優遇措置はありますか。

A 一般入試の出願もできます。一般入試において補欠となった場合は優遇する場合があります。また、先に行う推薦入試に合格し、入学金および施設設備料を納付した場合、推薦入試の入学手続き時にお渡しする書類に従って願い出ることにより、一般入試の受験料は後日お返しいたします。

Q 自己推薦書について教えてください。書けるのは、学校内の活動に関してだけですか。

A 基本的には中学校における生活がどのように充実したものであったかを見せられますが、校外のものを書いても差しつかえありません。地域のボランティア活動やスポーツ活動など、中学時代に打ち込んだものについて書いてください。

Q 英検や校外の活動での優秀な成績については考慮されますか。

A 考慮する場合があります。英検などについては調査書の「特記事項」に、またスポーツその他の活動に関しては「特別活動の記録」あるいは「特記事項」の欄に書いてください。

Q 3年2学期の評定とは、2学期だけの成績をさすのですか。

A 1学期からの成績を総合した12月時点での成績で、中学校が教育委員会などへ提出する評定をいいます。2学期制の学校においても、12月時点で中学校が教育委員会などへ提出する評定です。

Q 9教科の評定の合計が男子38（女子41）も45と同じに扱うのですか。

A 評定の合計の高いほうが多少有利になる場合もあります。

帰国生入試

Q 適性検査の内容を教えてください。

A 国語（ただし古典を除く）・数学・英語の3科目全体で60分のテストです。（昨年度はマークシート式テストでした。）国語と数学に関しては、本校における学習に必要な適性と中学校課程修了程度の基礎学力を確かめるためのもので、英語のみ、少々難易度の高いものとなっています。リスニング試験はありません。内容は公表していません。教科ごとに合格最低点（非公表）が設けられています。

Q 面接はどのような形式で行われるのですか。英語での質問はありますか。

A 20分程度のグループ面接です。志願者数名を一つのグループにして行われます。面接時の質問は基本的には日本語で行われますが、英語圏の現地校やインター校出身者には英語による質問があります。ただし、英語力を問うことが目的の面接ではありません。

Q 英検の資格は、点数に加算されますか。

A 加算しません。

Q 出願書類にはどのようなものがありますか。

A 入学願書等以外に、帰国生入試の出願には次の書類が必要です。

- (1) 国内の中学校または日本人学校を卒業・卒業見込の者は、中学校が作成する調査書
- (2) 海外の現地校・国際校等に在籍した者は、中学校相当期間にかかる全ての成績証明書（学校長の公印または署名のあるもの）
- (3) 離日前に国内の中学校に在籍した者はその中学校の成績証明書
- (4) 帰国生調査票（受験生本人が記入）
- (5) 海外在留証明書（在留期間、在留地名を記載。所属機関代表者の公印が必要）

※ (1)・(4)・(5) は本校所定用紙

Q 現地で行ったボランティアや行事の表彰状のコピーは添付した方がよいのですか。

A コピーは参考にさせていただきますが、直接合否に関係することはありません。基本的に現地での活躍に関しては、面接時にお話をお聞きすることになります。

Q 現地校の場合、成績証明書は何学年のものが必要なのでしょうか。

A 日本の中学校相当の年齢の時期にかかるもの（満12歳の4月以降のもの）すべてを提出してください。

Q 成績証明書はコピーでもよいのでしょうか。

A コピーそのものは認めておりません。ただし、コピーに、原本と相違ないという出身校の証明があればかまいません。証明書が厳封されていて中身が確認できない場合はそのままご提出ください。

Q 帰国の際、成績証明書のオリジナルをひとつしか発行してもらえず、コピーに証明をもらうことも難しいのですが、どうしたらよいのでしょうか。

A その場合は、出願の前に、本校にその旨電話でご連絡ください。まずは、成績証明書のコピーを他の出願書類とともに提出していただき、後日、受験前にオリジナルを本校にお持ちいただいて、ご提出いただいたコピーが原本と相違ないか、その場で照合させていただきます。

Q 日本人学校の場合は、現地での成績証明書は必要でしょうか。

A 現地の学校から直接受験される場合は必要ですが、現在日本の中学校に通っていて、日本人学校での成績を受験書類に転記してくれる場合は、必要ありません。現在通われている日本の中学校にご確認ください。

Q 一般入試にも出願できるのでしょうか。

A 出願できます。先に行う帰国生入試に合格し、入学金を納付した場合、帰国生入試の入学手続き時にお渡しする書類に従って願い出ることにより、一般入試の受験料は後日お返しいたします。

Q 中学時代に、アメリカの親戚の家に滞在し近所の公立のミドルスクールに1年間通っていました。帰国生入試を受けられますか。

A 本校の帰国生入試の出願資格に、ご家族のお仕事の都合で海外に在住していた者、という条件があります。留学に相当するケースでは、帰国生入試を受験することができます。

Q 現在、海外の現地企業に採用され、勤務しています。息子の受験に際し、海外在留証明書の作成を依頼したところ、日本語のフォームには対応できない、とのことでした。

A 別紙に本校の海外在留証明書の各項目を英語で記載していただき、経営責任者のサインを頂いたうえで、所定の封筒に入れて送付してください。

一般入試

Q 入試科目・試験時間・配点を教えてください。

A 入試科目は国語・数学・英語の3教科です。試験時間は3教科それぞれ50分間、配点は各100点満点です。教科ごとに合格最低点が設けられています。

Q 問題の内容、出題の傾向などを教えてください。

A 数学をはじめ総じて問題量が多く、国語は中学校程度の古文を含み、英語は長い文章を読んで設問に答える形式の問題が多く出題されています。過去の問題に目を通し、実際に時間を計って解答し、問題の内容や傾向をよくつかんでおくとうよいと思います。

Q リスニングは含まれますか。その場合、時間と配点を教えてください。また、内容的には英検で何級くらいですか。

A リスニング試験を含みます。時間は約15分です。内容は放送原稿を高等部ウェブサイトで公開していますので、ご確認ください。リスニングの配点については公表していません。また、難易度は英検との比較はできません。

Q 調査書の成績は点数に加味されるのですか。

A 加味しています。国語・数学・英語の3教科の入試の得点に加え、他の教科に関しても中学校における成績を加味することにより、本校の多様な授業に総合的に対応できる能力を有しているかどうかの判断をいたします。その割合等は非公表です。

Q 欠席が多い場合は不利になるのでしょうか。

A 欠席・遅刻・早退の日数が多い場合は個別に審議します。欠席・遅刻・早退の日数の扱いについて特別な事情がある場合は、その理由を別紙にて（校長公印が必要）提出することができます。

Q 面接はありますか。

A ありません。

Q 1浪の場合、受験資格はありますか。

A 1浪までは認めています。出生年月日の範囲について、本誌27ページを確認してください。

Q 補欠の繰り上げ合格者の人数は毎年何人ぐらいなのでしょう。

A 補欠は、年によって、男女によっても異なります。

学校説明会・公開行事

学校説明会

7月29日 土

場所：高等部 PS 講堂

12:00～ 開場、ハンドベル部演奏

13:00～ 全体会

14:10～ 校舎見学・入試相談

10月7日 土

場所：高等部 PS 講堂

12:00～ 開場、聖歌隊公演

13:00～ 全体会

14:10～ 校舎見学・入試相談

11月11日 土

場所：高等部 PS 講堂

12:00～ 開場、オルガン部演奏

13:00～ 全体会

14:10～ 校舎見学・入試相談

文化祭

9月16日 土

12:00～17:00

入試相談 14:00～16:00

9月18日 月・祝

9:15～15:00

入試相談 13:00～14:30



青山学院高等部

Aoyama Gakuin Senior High School

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25

TEL 03-3409-3880 (高等部直通)

FAX 03-3409-5784 (高等部)

<http://www.agh.aoyama.ed.jp/>

